

公益財団法人京都市障害者スポーツ協会

第1 法人の概要

1 代表者

理事長 芝田徳造

2 所在地

京都市左京区高野玉岡町5番地

3 電話番号

075-702-3370

4 ホームページアドレス

<http://www.kyoto-syospo.or.jp/>

5 設立年月日

昭和63年4月1日

6 基本財産

25,000千円（うち本市出えん額 25,000千円，出えん率 100.0%）

7 事業目的

京都市における障害のある人のスポーツの振興と健康の増進を図り，社会参加を促すとともに，障害のない人との共生社会の実現に努め，もって福祉の向上に寄与することを目的とする。

8 業務内容

- (1) 障害のある人のスポーツの振興事業
- (2) 障害のある人の健康の維持・増進に関する事業
- (3) 障害のある人の文化・レクリエーションの振興事業
- (4) 障害のある人への理解を進めるための事業
- (5) 障害者スポーツ施設等の運営事業
- (6) その他，この法人の目的を達成するために必要な事業

9 所管部局

保健福祉局障害保健福祉推進室（TEL075-222-4161）

10 役員名等

(1) 理事長

芝田徳造

(2) 常務理事

北山俊二

(3) 理事

内田寛治，森津常春，前田定幸，野地芳雄，小谷吉弘，日野勝，直野信之，森田美千代，瀬川彰（文化市民局スポーツ担当局長），出口一行（保健福祉局障害保健福祉推進室長）

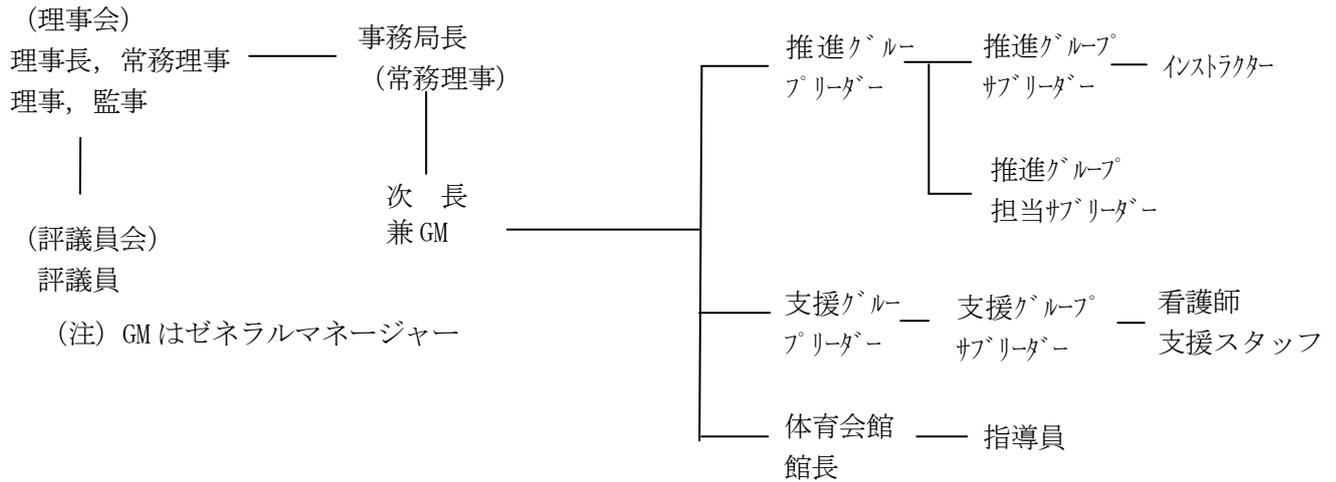
(4) 監事

堀村不器雄，壁純一郎，大西則嘉（保健福祉局障害保健福祉推進室社会参加推進課長）

11 常勤職員数

20人（うち本市派遣職員0人）

12 組織機構



第2 経営状況

1 平成 28 年度決算

(1) 事業報告

ア 障害のある人のスポーツの振興事業

(ア) 教室等開催事業

- a 京都市障害者スポーツセンター (以下：センター)
(全 35 事業, 282 回, 延べ 3,700 人参加)
- b 京都市障害者教養文化・体育会館 (以下：体育会館)
(全 4 事業, 16 回, 延べ 223 人参加)

(イ) スポーツ大会等開催事業 (センター・体育会館) (全 12 事業, 延べ 2,184 人参加)

(ウ) 各種スポーツ体験会・つどい等の開催事業

- a センター・体育会館 (全 2 事業, 延べ 128 人参加)
- b センター (全 6 事業, 49 回, 延べ 805 人参加)
- c 体育会館 (全 2 事業, 25 回, 延べ 496 人参加)

(エ) 講習会等開催事業

- a 講習会
 - (a) センター (全 4 事業, 延べ 174 人参加)
 - (b) 体育会館 (全 3 事業, 延べ 66 人参加)

(オ) 地域でのスポーツ振興事業 (センター・体育会館) (全 6 施設, 107 回)

(カ) 大会等への派遣事業 (センター・体育会館)

a 資格取得のための派遣

日本赤十字社救急法救急員講習会 (1 人), 日本赤十字社救急法救急員資格継続研修 (2 人), 手話検定 3 級 (1 人), 健康運動指導士 (1 人)

b 第 16 回全国障害者スポーツ大会 (希望郷いわて大会) への役員派遣 (6 人)

c 第 16 回全国障害者スポーツ大会 (希望郷いわて大会) の視察等 (2 人)

d 第 36 回全京都障害者総合スポーツ大会開閉会式への派遣 (2 人)

e 第 36 回全京都障害者総合スポーツ大会の視察 (2 人)

(卓球バレー大会・卓球大会・水泳大会・陸上競技大会・アーチェリー大会・フライングディスク大会)

f 第 12 回精神障害者バレーボール京都市大会 “京 (みやこ) ふれあいアタック” 「全国障害者スポーツ大会京都市予選会」 への監督としての派遣 (1 人)

g 第 16 回全国障害者スポーツ大会近畿地区予選会精神障害者バレーボール競技

- 京都市代表チームへの監督としての派遣（1人）
- h 全日本シッティングバレーボール女子チームへのコーチ就任及び強化合宿への派遣（1人）
- i シッティングバレーボール国際レフェリー講習会及び日本選手権大会への派遣（1人）
- j 平成28年度全国障害者スポーツ大会障害区分判定研修会への講師派遣（1人）
- k 平成28年度全国障害者スポーツ大会障害区分判定研修会への派遣（1人）
- l 平成28年度公益財団法人日本障がい者スポーツ協会技術委員会（全国障害者スポーツ大会班）への派遣（1人）
- m 第45回京都市聴覚言語障害者スポーツ大会への派遣（1人）
- n 平成28年度地域スポーツ支援リーダー研修会（長野センター）への講師派遣（1人）
- o 公益財団法人日本水泳連盟2016年度全国競技委員長会議への派遣（1人）
- p 2016パラ水泳強化・発掘会議への派遣（1人）
- q 第1回「健康長寿のまち・京都市民会議」総会への派遣（1人）
- r 一般社団法人日本身体障がい者水泳連盟2016年度東京2020強化推進委員会への派遣（1人）
- s 日本ハロウィック水泳法協会平成28年度理事会への派遣（1人）
- t 第11回日本ろう者水泳選手権大会兼第23回デフリンピック選考会への役員派遣（1人）
- u 一般社団法人日本ろう者水泳協会強化合宿への役員派遣（1人）
- v パラ水泳春季記録会兼ワールドパラ世界水泳選手権大会代表選手選考会への役員派遣（1人）
- w 平成28年度障がい者スポーツ近畿ブロック連絡協議会への派遣（1人）
- x 2016ジャパンパラ水泳競技大会への役員派遣（1人）
- y 第33回日本身体障がい者水泳選手権大会への役員派遣（1人）
- z 第29回全国車いす駅伝競走大会開閉会式への役員派遣（1人）
- aa 中級障がい者スポーツ指導員養成講習会への講師派遣（1人）
- イ 障害のある人の健康の維持・増進に関する事業
- (ア) 健康のための運動指導事業
- a センター（全15事業，219回，延べ6,532人参加）
- b 体育会館（全3事業，44回，延べ518人参加）
- (イ) 相談事業
- a 医師によるスポーツ医事相談（センター）（47件）
- b 理学療法士によるスポーツ医事相談
- (a) センター（48件）
- (b) 体育会館（34件）
- c 職員による新規面談及び新規指導
- (a) センター（個人面談444人）
- (b) 体育会館（個人面談45人）
- ウ 障害のある人の文化・レクリエーションの振興事業
- (ア) 文化教室等開催事業
- a センター（全16事業，108回，延べ1,865人参加）
- b 体育会館（全9事業，63回，延べ805人参加）
- (イ) レクリエーション教室等開催事業
- a センター・体育会館（全1事業，2回，延べ53人参加）
- b センター（全16事業，127回，延べ2,863人参加）

- c 体育会館（全3事業, 99回, 延べ3,620人参加）
- エ 障害のある人への理解を進めるための事業
 - (ア) イベント等開催事業
 - a センター・体育会館（全5事業, 延べ7,513人参加）
 - (イ) 交流事業
 - a センター（全4事業, 22回, 延べ948人参加）
 - b 体育会館（全1事業, 1回, 延べ166人参加）
 - (ウ) 啓発事業（センター）
 - a 実習, 職場体験学習等の受入れ（延べ5人）
 - b 見学等の受入れ（全16件, 延べ346人）
 - c 他団体からの依頼による館内での指導（全12団体）
- オ 障害者スポーツ施設等の運営事業
 - (ア) 施設管理事業
 - a センター

日本赤十字社救急法救急員講習会への派遣（1人）, 日本赤十字社救急法救急員資格継続研修への派遣（1人）, スポーツ教室等の指導マニュアルの策定, スポーツセンター利用にかかる業務, 手話研修（24回）, 点字研修（20回）, 総合消防訓練（2回）, 心肺蘇生法個人練習（月3回×12か月）, 救急法等安全管理のための研修（48回）, 安全運転管理者講習への派遣（1人）, コンプライアンスの推進のための研修, 京都労働健康管理会への派遣（1人）, 第33回全国障がい者スポーツセンター協議会への派遣（2人）, 平成28年度京都府体育施設協会理事会への派遣（1人）, 京都府体育・スポーツ施設管理者講習会への派遣（1人）, 平成28年度京都市基本事務研修会への派遣（2人）, 全国公益法人協会の実施する研修会への派遣（2人）, 社会福祉法人福利厚生センターの実施する研修会（接遇）への派遣（1人）, 平成28年度障がい者スポーツ協会・競技団体・指導者協議会合同会議への派遣（1人）, 図書室の運営（延べ1,933人利用）, 疾病への対応（病気によるもの70件, 怪我によるもの93件）
 - b 体育会館

体育会館利用にかかる業務, 日本赤十字社救急法救急員資格継続研修への派遣（1人）, 安全運転管理者講習への派遣（1人）, コンプライアンスの推進のための研修, 総合消防訓練（1回）, 心肺蘇生法個人練習（月3回×12か月）, 疾病への対応（病気によるもの4件, 怪我によるもの7件）
 - (イ) 施設整備事業
 - a センター
 - (a) 必要な施設・設備・備品等の改修（4件） ※1件50万円以上のもの
 - (b) 必要な備品の調達（1件） ※1件20万円以上のもの
 - (c) 環境マネジメントシステム KES の継続改善実施
 - b 体育会館
 - (a) 必要な施設・設備・備品等の改修（1件） ※1件50万円以上のもの
 - (b) 必要な備品の調達（1件） ※1件20万円以上のもの
 - (c) 環境マネジメントシステム KES の継続改善実施
 - (ウ) 便宜供与事業
 - a センター
 - (a) 定期送迎バスの運行（総運行日数279日/年間, 延べ4,792人利用）
 - (b) 申請による送迎バスの運行（全4団体, 延べ65人利用）
 - b 体育会館

定期送迎バスの運行（総運行日数294日, 延べ1,118人利用）
 - (エ) 宣伝事業

- a センター機関紙発行（全5回，各2,000部）
 - b 体育会館機関紙発行（全5回，各1,500部）
 - c 平成26年度事業概要(年報)の発行（500部）
 - d ホームページによる情報発信
 - (a) センター（アクセス数252,953件／年間）
 - (b) 体育会館（アクセス数9,876件／年間）
 - e センター利用カレンダーの配布
 - f 近隣の清掃・美化活動
 - (a) センター（220日実施）
 - (b) 体育会館（12日実施）
- カ そのほか，この法人の目的を達成するために必要な事業
- (ア) センターにおける物品販売事業（水着，水泳帽等）
 - (イ) 体育会館における施設貸与事業

(2) 財務諸表

貸借対照表
平成29年3月31日現在

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	15,668	76,802	△61,134
未収金	575	899	△324
前払金	83	83	0
仮払金	0	557	△557
繰越商品	249	222	27
流動資産合計	[16,575]	[78,563]	[△61,988]
2. 固定資産			
(基本財産)			
投資有価証券	25,000	25,000	0
基本財産合計	(25,000)	(25,000)	(0)
(特定資産)			
減価償却引当資産	32,758	28,947	3,811
特別修繕引当資産	60,493	60,493	0
事業平準化積立資産	108,653	34,000	74,653
体育会館運営引当資産	0	7,955	△7,955
体育会館整備引当資産	17,000	17,000	0
共済会退職給与預け金	9,651	19,302	△9,651
特定資産合計	(228,554)	(167,696)	(60,858)
(その他固定資産)			
構築物	78	117	△39
車両運搬具	3,724	6,322	△2,598
什器備品	3,669	4,786	△1,118
ソフトウェア	1,522	966	555
電話加入権	75	75	0
その他固定資産合計	(9,067)	(12,266)	(△3,199)
固定資産合計	[262,621]	[204,962]	[57,659]
資産合計	279,196	283,525	△4,329
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	6,560	6,268	292
預り金	777	1,037	△260
賞与引当金	7,575	7,493	82
流動負債合計	[14,912]	[14,798]	[113]
2. 固定負債			
共済会退職給付引当金	9,651	19,302	△9,651
固定負債合計	[9,651]	[19,302]	[△9,651]
負債合計	24,562	34,100	△9,537
III. 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
京都市出えん金	25,000	25,000	0
受贈車両運搬具	578	782	△204
受贈什器備品	0	0	0
指定正味財産合計	[25,578]	[25,782]	[△204]
(うち基本財産への充当額)	(25,000)	(25,000)	(0)
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	[229,056]	[223,643]	[5,413]
(うち特定資産への充当額)	(218,904)	(148,395)	(70,509)
正味財産合計	254,634	249,425	5,209
負債及び正味財産合計	279,196	283,525	△4,329

正味財産増減計算書
平成28年4月1日～平成29年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	262	262	0
特定資産運用益	48	52	△4
事業収益	256,213	239,485	16,728
受取助成金	916	919	△3
雑収益	931	6,175	△5,244
経常収益計	258,371	246,894	11,477
(2) 経常費用			
事業費	248,418	227,550	20,867
管理費	4,541	4,594	△54
経常費用計	252,958	232,145	20,814
当期経常増減額	5,413	14,749	△9,337
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
什器備品除却損	0	4	△4
経常外費用計	0	4	△4
当期経常外増減額	0	△4	4
当期一般正味財産増減額	5,413	14,745	△9,333
一般正味財産期首残高	223,643	208,898	14,745
一般正味財産期末残高	229,056	223,643	5,413
II. 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益	262	262	0
一般正味財産への振替額	△466	△520	53
当期指定正味財産増減額	△204	△257	53
指定正味財産期首残高	25,782	26,039	△257
指定正味財産期末残高	25,578	25,782	△204
III. 正味財産期末残高	254,634	249,425	5,209

2 平成29年度事業計画

(1) 事業計画の概要

ア 障害のある人のスポーツの振興事業

(ア) 教室等開催事業

- a 京都市障害者スポーツセンター（以下：センター）（全36事業、296回）
- b 京都市障害者教養文化・体育会館（以下：体育会館）（全5事業、28回）

(イ) スポーツ大会等開催事業（センター・体育会館）（全12事業）

(ウ) 各種スポーツ体験会・つどい等開催事業

- a センター・体育会館（全2事業）
- b センター（全4事業、36回）
- c 体育会館（全2事業、38回）

(エ) 講習会等開催事業

- a センター（全5事業、16回）
- b 体育会館（全3事業、5回）

(オ) 地域でのスポーツ振興事業（センター・体育会館）

- a 施設へのスポーツ指導のための職員派遣（全5施設）

- (カ) 大会等への派遣事業（センター・体育会館）
- イ 障害のある人の健康の維持・増進に関する事業
 - (ア) 健康のための運動指導事業
 - a センター（全14事業, 144回）
 - b 体育会館（全5事業, 60回）
 - (イ) 相談事業
 - a センター
 - 医師, 理学療法士によるスポーツ医事相談（全48回）
 - b 体育会館
 - 理学療法士によるスポーツ医事相談（全24回）
- ウ 障害のある人の文化・レクリエーションの振興事業
 - (ア) 文化教室等開催事業
 - a センター（全12事業, 79回）
 - b 体育会館（全6事業, 48回）
 - (イ) レクリエーション教室等開催事業
 - a センター・体育会館（全1事業, 2回）
 - b センター（全16事業, 121回）
 - c 体育会館（全5事業, 151回）
- エ 障害のある人への理解を進めるための事業
 - (ア) イベント等開催事業（センター・体育会館）（全5事業）
 - (イ) 交流事業
 - a センター（全4事業, 22回）
 - b 体育会館（全1事業）
 - (ウ) 啓発事業（実習及び見学等の受入れ）
- オ 障害者スポーツ施設の運営事業
 - (ア) 施設管理事業
 - a センター・体育会館
 - 日本赤十字社救急法救急講習会への職員派遣, 日本赤十字社救急法救急員更新講習会への職員派遣, 職員研修（手話, 点字, 接遇, コンプライアンス, 人権, 個人情報保護, 事故防止等）, 災害・事故等対策訓練（総合消防訓練, 心肺蘇生法等救急訓練, 緊急時対応訓練等）, 安全管理マニュアル, 安全運転管理者講習会への職員派遣, コンプライアンスの推進, 利用者の意見反映（アンケート, 意見箱等）, 人材育成
 - b センター
 - スポーツセンター利用に係る業務, 障害者スポーツセンター協議会への派遣, 図書室の運営
 - c 体育会館
 - 体育会館利用に係る業務
 - (イ) 施設整備事業（センター・体育会館）
 - a 必要な施設の改修
 - b 必要な備品の調達
 - c 環境マネジメントシステム KES の継続改善
 - (ウ) 便宜供与事業（センター・体育会館） 送迎バスの運行
 - (エ) 宣伝事業（センター・体育会館）
 - a 機関紙の発行
 - b 事業概要の発行
 - c ウェブサイトの運営
 - d 利用カレンダーの作成

カ その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

(ア) センターにおける物品販売事業

(イ) 体育会館における施設貸与事業

(2) 予算

正味財産増減予算書
平成29年4月1日～平成30年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	263	263	0
特定資産運用益	50	50	0
事業収益	239,162	254,687	△15,525
受取助成金	875	875	0
雑収益	680	680	0
経常収益計	241,030	256,555	△15,525
(2) 経常費用			
事業費	247,205	264,437	△17,232
管理費	5,473	5,526	△53
経常費用計	252,678	269,963	△17,285
当期経常増減額	△11,648	△13,408	1,760
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△11,648	△13,408	1,760
一般正味財産期首残高	223,643	208,898	14,745
一般正味財産期末残高	211,995	195,490	16,505
II. 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益	263	263	0
一般正味財産への振替額	△467	△467	0
当期指定正味財産増減額	△204	△204	0
指定正味財産期首残高	25,782	26,039	△257
指定正味財産期末残高	25,578	25,835	△257
III. 正味財産期末残高	237,573	221,325	16,248

(参考1) 財務状況の推移

(単位：千円)

		H26 (決算)	H27 (決算)	H28 (決算)	H29 (予算)
正味財産増減計算書	経常収益	240,883	246,894	258,371	241,030
	当期経常増減額	3,329	14,749	5,413	△11,648
	当期正味財産増減額	4,143	14,488	5,209	△11,852
貸借対照表	総資産	280,430	283,525	279,196	
	総負債	45,493	34,100	24,562	
	正味財産	234,937	249,425	254,634	

(参考2) 京都市からの補助金等

(単位：千円)

		H26 (決算)	H27 (決算)	H28 (決算)	H29 (予算)
委託料	京都市障害者スポーツセンター管理運営委託 (指定管理)	208,364 (※)	208,364 (※)	208,623 (※)	195,450 (※)
	京都市障害者教養文化・体育会館管理運営委託 (指定管理)	21,595 (※)	21,595 (※)	21,661 (※)	21,004 (※)
	全国障害者スポーツ大会派遣事業委託			17,984	

(※) 一部利用料金制

第3 経営評価結果

1 所管局による経営状況の全般評価

財務面	<ul style="list-style-type: none"> 健全な財務状況にあるが、今後も節電に努める等、支出の削減に努める必要がある。
事業面	<ul style="list-style-type: none"> 修繕等に係る工事により、一時期施設を利用できない時期があったが、年間の利用者数が平成27年度に引き続き20万人を超えた点は評価できる。 障害者スポーツの裾野を広げる取組を積極的に行ったほか、夏祭りやクリスマス会などの開催により利用者と地域住民の交流を促進している。

2 外郭団体総合調整会議による評価コメント

財務面	<ul style="list-style-type: none"> 施設の修繕費の増加等により平成27年度と比較して経費が増えたものの、当期正味財産増減額の黒字を維持しており、財務面で特に問題はない。
事業面	<ul style="list-style-type: none"> 利用者数の拡大など、業務面での実績も好調である。引き続き利用者ニーズの把握に努め、利用の拡大を図ってほしい。